

談話室

産経新聞 令和2年（2020年）1月10日（金）

安心できるリアルな場所を

大学生 森本真央 21

「SNS犯罪から子供を守れ」という内容の新聞記事を読んだ。

子供たちは、理解してもらいたい、共感してもらいたいと強く求めるので、知らない相手にも心を許してしまう。

SNSは、誰にも相談できない悩みを吐き出せる場所になっているそうだ。

子供たちの居場所を見直し、大人たちが居場所をつくり、提供することが大切である。

子供たちが、逃げ出したい、話を聞いてほしいといって、安易に投稿しなければ、事件に巻き込まれなかったかもしれない。

まずSNSの怖さを教えるとともに、安全に生活できるようにするのが、子供を守ることに繋がる。

将来、教育者を目指している。教育現場では、子供たちが安心できる居場所をつくり、彼ら彼女らの気持ちに寄り添いたいと思う。

（奈良県大和郡山市）

※無断転載不可